

二拠点居住、多拠点居住に向けた、働く環境を整備した共同住宅整備

■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	福島県須賀川市
背景・課題	須賀川での副業・兼業など、県外在住で須賀川に関心のある人材は多い。しかし、ホテル以外の滞在施設が少なく、低価格での滞在施設が不足しているため、長期での滞在に至れないケースが発生している。
目的	公営住宅の払い下げにより、役目を終えた施設を、二拠点居住、多拠点居住、お試し滞在などで利用していただける、須賀川に貢献したい人のための施設に改修をする。
連携する団体・役割	福島大学 経済学類 村上ゼミ ・ リノベーションに係る業務全般の事務、施工

■ 取組内容と成果

①旧母子支援施設リノベーション

- 役目を終えた公営住宅を入札し、次の世代に繋がるバシヨを目指し改修
- 須賀川に貢献したいと考える人に向けた、低価での滞在可能な施設へ改修
- 使用可能な箇所はそのまま活かし、滞在用の部屋を中心に部屋に改修
- 須賀川に貢献したい人向けに改修、作業の輪を地域で広げながら実施



旧母子支援施設外観



before



after



旧母子支援施設玄関

②ボランティアの呼びかけ

- 高校・大学・社会福祉協議会など、呼びかけて作業
- 解体や基礎工事など、改修を協力



チラシ配布

④メディアへの掲載

- プレスリリースを発信し、新聞等の報道で情報拡散
- ボランティアの参加やクラウドファンディングの支援者効果が得られた



プレスリリース

新聞掲載

③クラウドファンディング

- ボランティア参加者の経済的負担が発生しないために実施
- 作業に参加できない人にも輪を広げるために実施

クラウドファンディング目標達成

